

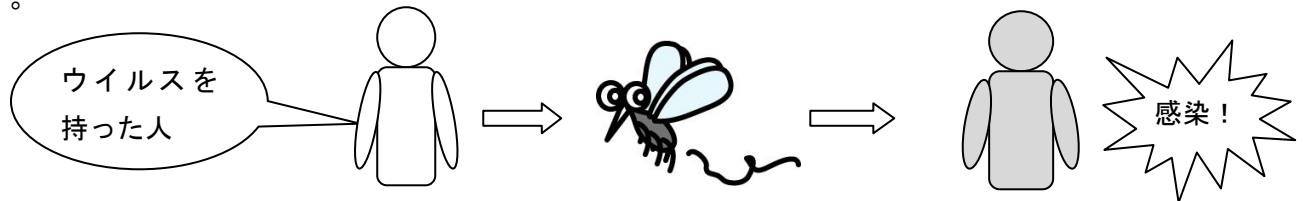
ジカウイルス感染症について

☆平成28年1月下旬以降、中南米諸国でジカウイルス感染症が拡大しています。

☆ジカウイルス感染と小頭症の流行との関連が指摘されていて、現在調査・研究中です。

ジカウイルス感染症とは・・・

- ・ジカウイルスを持った蚊（ネッタイシマカ・ヒトスジシマカ）に刺されることによって生じる感染症です。



- ・また、ジカウイルスは精液に含まれるといわれており、流行地から帰国した男性は症状の有無に関わらず、妊娠中・妊娠の可能性のあるパートナーとの性行為には、コンドームを使用するように勧奨されています。
- ・ヒトが感染しても、不顕性感染（はっきりした症状がでない）が8割以上といわれています。
- ・症状は、蚊に刺されてから2日～12日（多くは2日～7日）後、軽度の発熱（ $<38.5^{\circ}\text{C}$ ）、頭痛、関節痛、筋肉痛、斑丘疹、結膜炎、疲労感、倦怠感などをおこすことがあります。一般的に他の蚊媒介感染症であるデング熱、チクングニア熱より軽症といわれています。
- ・特効薬やワクチンはありません。症状に応じた対症療法となります。1週間程度で回復し、予後良好なことが多いです。

☆蚊媒介感染症対策は、蚊にさされないことが大事です。

蚊は感染症を媒介しますので、日頃から蚊に刺されないように防除することが大切です！

- ・家屋の扉や隙間を管理して、蚊の進入を防ぎましょう。
- ・屋外での作業時は、明るい色の長袖・長ズボンを着用し、皮膚が露出する部分には、虫除け剤等を使用しましょう。
- ・やぶや草むらといった蚊の潜んでいる場所に近づかないようにしましょう。

蚊を発生させないようにしましょう

- ・放置されたバケツ・古タイヤ・植木鉢の受け皿・空き缶等に水がたまることのないようにしましょう。
- ・茂みを剪定しましょう。

☆すべての蚊がジカウイルスを持っているわけではないので、蚊に刺されというだけで心配する必要はありません。

蚊に刺されてから2日～12日程度で症状が出たときには、早めに医療機関を受診しましょう

厚労省 ジカウイルス感染症について <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

国立感染症研究所 ジカウイルス感染症のリスクアセスメント

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/2358-disease-based/sa/zika-fever/6227-zikara-160216.html>

神戸市ホームページ ジカウイルス感染症について

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/protection/zika.html>

